

市民病院だより

喫煙者に高い確率で発症している「COPD」について

内科医師 徳島恵美子とくしまえみこ

「COPD（慢性閉塞性肺疾患）」をご存知でしょうか？

従来、慢性気管支炎や肺気腫と呼ばれてきた病気の総称で、たばこの煙を主とする有害物質を吸入することで生じる肺の炎症性疾患です。

厚生労働省が発表している平成28年の死亡者数は130万765人で、死因順位別にみると第1位は悪性新生物(がん)、第2位は心疾患、第3位は肺炎、第4位は脳血管疾患となっています。悪性新生物を部位別にみると、男性では肺がんが最も多く、女性では大腸がん、肺がんが高くなっています。

世界の死因では、COPDが第4位となっており、2030年までにはCOPDが世界の死因の第3位を占めるようになる

と推測されています。

日本でもCOPDは男性の死因の第8位を占めており、中高年層で増加していますが、社会的な認知が十分とは言えない状態で、健康日本21（第二次）では、COPD認知度を平成34年度までに80%に向上させることを目標としています。

喫煙者（以前喫煙していた人も含む）で「体を動かしたときに息切れがする」「風邪もひいてないのに咳や痰が続く」「動くときドキドキすることがある」などの症状がある人はCOPDかもしれないかもしれません。

ゆっくりと進行し、典型的な身体所見も重症になって初めて現れることが多いため、早期に気づきにくいことが特徴です。重症になると呼吸不全に至り、息苦しさのために日常生活ができなくなったり、風邪などを

きっかけに急に症状が悪化したりします。

COPDの原因の約90%は喫煙であり、受動喫煙も含まれます。COPDの診断はスパイロメトリーと呼ばれる器具を使って肺機能検査を行い、気流障害があるかどうかを調べます。

治療は禁煙が基本です。残念ながら失われた肺の機能は改善しませんが、さらに肺機能が悪化することを防ぎます。また症状に応じて、薬物治療や運動療法、酸素療法などを行います。

「自分もCOPDかも」と思われた人は、ぜひ医療機関を受診されることをお勧めします。



糖尿病食事を開催

日時

5月24日(木)
11時～12時30分
(受付 10時45分～)
予定

場所

小城市市民病院
3階研修室

定員

先着20人

参加費

食事資料代500円

内容

- ・糖尿病の話
- ・(佐賀県糖尿病コーディネーター)看護師 江頭
- ・糖尿病食を食べてみよう(管理栄養士 岡本)

【問い合わせ】

小城市市民病院
佐賀県糖尿病コーディネーター看護師 江頭
73・2161



お知らせ

小児科・産婦人科・自由診療の夕方診療を行っています。
(毎週木曜日) 詳細は、市民病院ホームページや電話にてご確認ください。

【問合せ】小城市市民病院 ☎ 73・2161

ホームページ・アドレス <http://www.city.ogi.lg.jp/hospital/>